

(株)雨風太陽代表取締役高橋博之さまをお迎えして会社説明会IRをしていただきました



(株)雨風太陽は東証グロース上場企業で、「都市と地方をかきまぜる」というミッションを掲げて昨年12月18日に上場されました。

いま、代表取締役の高橋さまは上記の理念に共感をお持ちいただける方に株主になっていただきたいと全国を回られており、10月25日弊社に来社され『熱い思い』を語られました。

「地方にある土地固有の自然、風土、文化に立脚し、連綿と繋いできた唯一無二の歴史が、途絶えようとしている」

NPO法人東北開墾を設立した今から11年前、津波に飲み込まれた東北の三陸沿岸部で高橋社長は思われたそうです。

それが(株)雨風太陽という会社の原点なのだと我々は感じました。



高橋社長から愛媛県のみかん農家の方が、(株)雨風太陽の事業の1つであるポケットマルシェを使い、多くの県外の方に美味しいみかんを提供し、みかんを食べた方々から美味しかったという嬉しい感想と豊かな生活を得ているというお話を聞きました。

観音寺・三豊・丸亀・四国中央・新居浜この地域で仕事と生活をしている中で、忘れかけていたこの地方の価値に気づくことができました。

普段はお会いする機会がない、高橋社長のような方のお話はリスキングに繋がる好機と感じた若手は多かったようです。当社が4月から参画している地域証券コンソーシアムが紡いでくれた『縁』に感謝した1日でした。



顔の見える車座でのミーティング



三豊証券
Mitoyo Securities